

新年あけましておめでとうございます

登録組織、申請組織の皆様、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。また、昨年とは格別のお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、東日本大震災、原子力発電所の事故等の国内災害にとどまらず、海外においても欧州債務問題等、多難な一年となりました。そうした中で、官民挙げての復旧、復興対策が効を奏して、少し明るい兆しが見えてきたかと思われませんが、JICQA も被害を受けられた登録組織様に対して、引き続きサポートさせていただきたく所存です。

JICQA は本年 10 月、20 周年を迎えることとなりました。これも、登録組織、申請組織の皆様の長きにわたるご協力の賜物と心から感謝申し上げますと共に、わが国における ISO 審査登録事業の先駆けとしての自負心を持って、引き続き皆様のお役に立てるよう全力で取り組んでまいりますので、今後とも一層のご理解ご支援をお願い申し上げます。

1. 世界の ISO 登録件数(2010 年)をお知らせいたします。

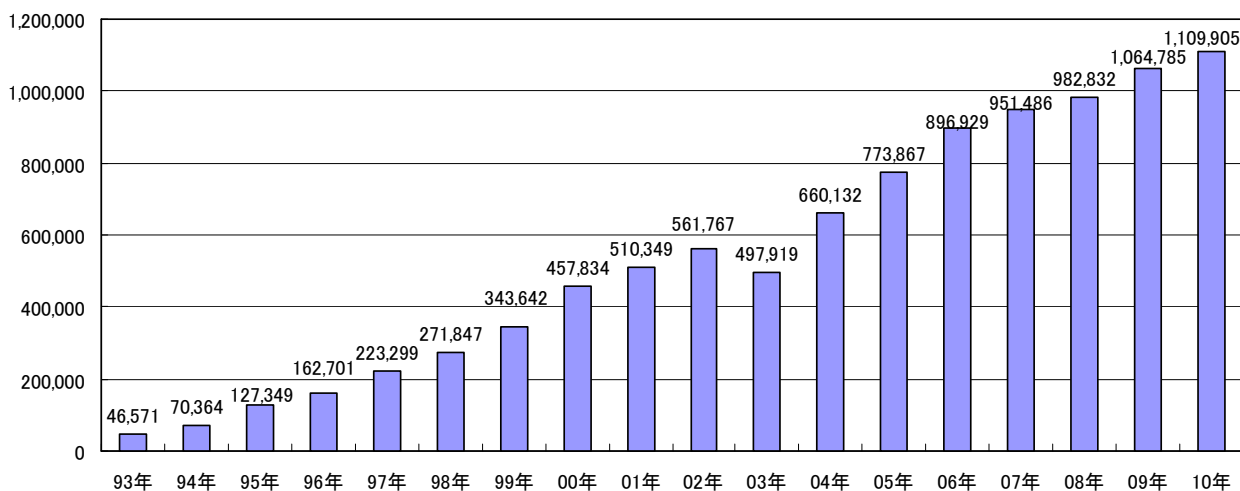
ISO(国際標準化機構)は、2011 年 12 月 1 日付で、「The ISO Survey of certifications 2010」を公表しました。これは、2010 年 12 月末時点の世界の ISO 登録件数を調査したものです。

調査結果のなかから、①ISO9001 の 1993 年からの世界の登録件数推移、②規格別の世界の登録件数、③規格別の国別登録件数(上位 10 ヶ国)を紹介します。

規格別の登録件数は、いずれの規格も 2009 年より増加しています。また、国別登録件数では、中国が ISO9001、ISO14001、ISO 22000、ISO/TS 16949 の 4 規格で 1 位、ISO27001 は 5 位です。日本は、すべての規格でトップ 10 入りをしています。

詳細は、ISO ホームページをご覧ください。(<http://www.iso.org/iso/iso-survey2010.pdf>)

①ISO 9001 の 1993 年からの世界の登録件数推移



②規格別の世界の登録件数

	ISO 9001 (品質MS)	ISO 14001 (環境MS)	ISO 27001 (情報セキュリティMS)	ISO 22000 (食品安全MS)	ISO/TS 16949 (自動車産業品質MS)
2009年	1,064,785	223,149	12,934	13,881	41,240
2010年	1,109,905	250,972	15,625	18,630	43,946
増減	+ 45,120 (前年比:+4%)	+ 27,823 (前年比:+12%)	+ 2,691 (前年比+21%)	+ 4,749 (前年比+34%)	+ 2,706 (前年比+7%)

③規格別の国別登録件数(上位 10 ヶ国)

	ISO 9001	ISO 14001	ISO 27001	ISO 22000	ISO/TS 16949
1位	中国 297,037	中国 69,784	日本 6,264	中国 5,575	中国 14,200
2位	イタリア 138,892	日本 35,016	インド 1,281	ギリシャ 1,197	韓国 4,014
3位	ロシア連邦 62,265	スペイン 18,347	イギリス 1,157	トルコ 1,088	アメリカ 3,727
4位	スペイン 59,854	イタリア 17,064	台湾 1,028	インド 1,020	ドイツ 3,178
5位	日本 59,287	イギリス 14,346	中国 957	台湾 948	インド 2,979
6位	ドイツ 50,583	韓国 9,681	スペイン 711	ルーマニア 641	日本 1,195
7位	イギリス 44,849	ルーマニア 7,418	チェコ共和国 529	ポーランド 629	ブラジル 1,138
8位	インド 33,250	チェコ共和国 6,629	イタリア 374	日本 482	イタリア 1,118
9位	アメリカ 25,101	ドイツ 6,001	ドイツ 357	スペイン 364	タイ 1,046
10位	韓国 24,778	スウェーデン 4,622	ルーマニア 350	エジプト 276	フランス 1,033

担当:業務部 溝口
(TEL:03-5541-2751)

2. JICQA 無料セミナーの 2012 年 4~6 月の開催日程を更新しました。

ご好評を戴いております JICQA 無料セミナーの 2012 年 4~6 月の開催日程につきまして、当社 HP (<http://www.jicqa.co.jp/06kenshu/mseminar/>)にて更新しました。

JICQA 無料セミナーの開催概要は下記の通りとなっております。

◆ 対象規格

・マネジメントシステム関係

ISO20000 (ITSMS:IT サービスマネジメント)、ISO9001 (QMS:品質)、ISO14001 (EMS:環境)、ISO27001 (ISMS:情報セキュリティ)、ISO22000 (FSMS:食品安全)、BS 25999 (BCMS:事業継続)、ISO50001 (EnMS:エネルギー)

・温室効果ガス排出量関係

埼玉県目標設定型排出量取引制度、東京都排出量取引制度 トップレベル、東京都排出量取引制度 都内中小クレジット都外クレジット、排出量検証(全般)の概要

◆ 本セミナーの対象者

- ・これからマネジメントシステムの認証取得にお取組みの方、又はご検討中の方
- ・マネジメントシステムの基礎を学びたい方

◆ 内容

- ・マネジメントシステム規格の概要を中心とする説明
- ・JICQA の特徴や JICQA の審査手順等に関する分かりやすい説明

◆ 開催場所

当社 HP (<http://www.jicqa.co.jp/06kenshu/mseminar/>)にてご確認ください。

無料セミナーの終了後に「個別相談会」を開催致しております。JICQA 無料セミナーのご参加申込書から併せてご利用を承ります。

なお、詳しい開催要領及びお申込方法は、当社 HP (<http://www.jicqa.co.jp/06kenshu/mseminar/>) をご覧下さい。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

担当：営業部 古川、平塚
(TEL：03-5541-2752)

3. 埼玉県「目標設定型排出量取引制度」に基づく検証を実施しました。

JICQAは、2011年12月に朝日工業株式会社 埼玉事業所(埼玉県児玉郡)に対して、埼玉県「目標設定型排出量取引制度」に基づく検証を実施しました。今回検証を実施したのは、「区分3:その他ガス削減量」の「モニタリング計画の有効化検証」です。

埼玉県「目標設定型排出量取引制度」では温室効果ガスを多量に排出する工場、ビル、公共施設等の大規模事業所(約600事業所)に対して、エネルギー起源CO₂を2011～2014年度では6%もしくは8%の削減目標を達成するように努めることを求めています。今回の「区分3:その他ガス削減量」は削減目標を達成させるために利用することが可能となっております。

これらの事業所ではエネルギー起源CO₂排出量を算定し、その算定結果がガイドラインに従っているか、またその算定や集計の結果が適切であるかどうかについて登録検証機関による検証を受ける必要があります。第一計画期間(2011～2014年度)では目標の達成状況の確認の計画提出時(2015年度)に基準排出量及び計画期間中の排出量(4年度分)の検証結果を添付することが必要となります。検証を実施し、検証結果を皆様へ提出するのに平均して1, 2か月程度かかることが予想されるため、計画提出期限の2, 3か月前に検証を受けていただくことをお勧めいたします。

ただし計画提出期限の2, 3か月前には、検証が集中することが予想されます。また検証の際に必要な根拠資料(例:電力使用量を示す購買伝票等)の準備にも時間がかかる可能性があります。特に基準排出量(2002～2007年度までの間の任意の連続する3年度分の年間排出量を平均した値)検証の際に必要な根拠資料は、2015年度に検証を受ける場合には最大で13年前(2002～2015年度)となってしまいうため、入手困難となる可能性が高くなります。そのため、特に基準排出量の検証をできる限り早く受けられることをお勧めいたします。

また埼玉県「目標設定型排出量取引制度」に特化した無料セミナーも好評開催中です。本セミナーの内容として、埼玉県目標設定型排出量取引制度の概要、排出量取引の際に必要な排出量検証を受けるための準備、方法及び費用等についてわかりやすく解説いたします。今後のセミナー開催予定は、1月16日(月)、3月19日(月)いずれも14:00～16:30となっております。

詳しくは当社 HP (http://www.jicqa.co.jp/06kenshu/mseminar/emissions_saitama/index.html) をご覧ください。

JICQAは、埼玉県「目標設定型排出量取引制度」と連携している東京都「総量削減義務と排出量取引制度」では100事業所以上の検証実績を有しており、幅広い専門性、高い検証技術を持つ検証人による検証業務を提供しております。

もし同制度に該当し、検証が必要な場合は、是非とも弊社JICQAに検証業務をご用命いただきますようお願い申し上げます。また、お知り合いの事業者様にも、ご紹介、ご推薦いただければ幸いです。

担当：営業部 古川、関、平塚
(TEL：03-5541-2752)

JICQA登録組織件数情報

(2011年12月31日現在)

【マネジメントシステム登録件数】

適用規格	新規登録 件数 *1	現在登録 件数
ISO 9001	6	2,673
ISO 14001	10	1,597
OHSMS	1	49
ISO 22000	0	34
HACCP	0	18
ISO 27001	3	227
ISO 20000-1	0	7
JIS Q 9100	0	95
BS 25999-2	0	2
合計	20	4,702

*1: 2011年12月(第562~564回)の登録決定会議で
審議され、新規に登録された件数

【JIS認証件数】

登録区分	新規認証 件数 *2	現在認証 件数
A; 土木・建築	0	27
B; 一般機械	0	23
E; 鉄道	0	4
G; 鉄鋼	0	377
H; 非鉄金属	0	37
R; 窯業	0	16
Z-1; 包装・容器	0	12
Z-3; 溶接	0	15
合計	0	511

*2: 2011年12月(第125回)のJIS認証決定会議で
審議され、新規に登録された件数

TS 16949登録組織情報(SRI登録 *3)

適用規格	現在登録 件数
TS 16949	99
ISO 9001	4

*3: TS16949の審査業務はSRI-JICQAで行っております。



日本検査キューエイ株式会社 JIC Quality Assurance Ltd.(JICQA)

〒104-0041 東京都中央区新富二丁目15番5号(業務部:高崎、樋口)

TEL: 03-5541-2751 FAX: 03-5541-2955